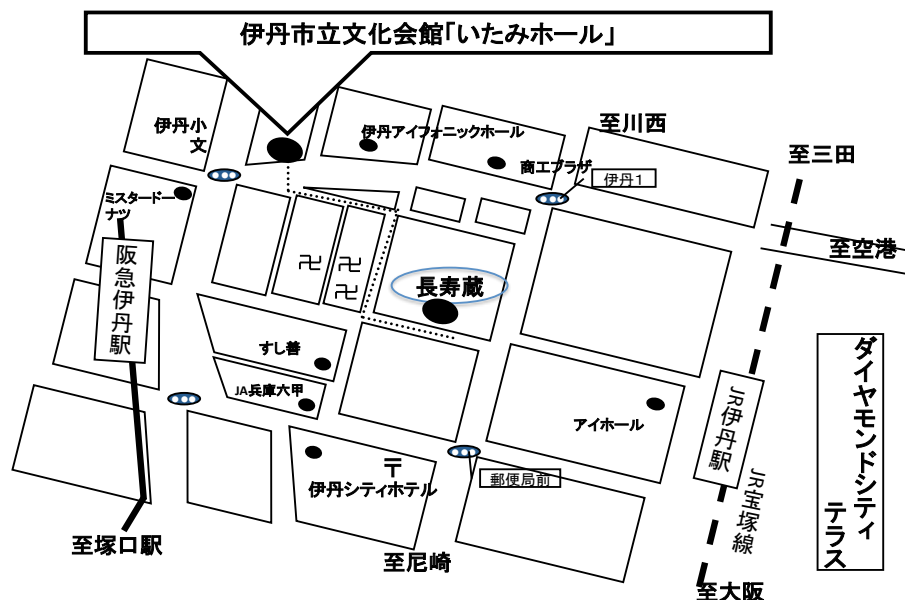


一人ひとりの子どもたちの健全な発達を支援できるように、レジリエンシー（しなやかに生きる心の能力）、ライフスキル（対人関係スキル、意志決定スキルなどの心理社会的能力）、セルフエスティーム（健全な自尊心）を育て、メンタルヘルスを向上し、いじめなどの危険行動をする教育の具体的進め方について、講義と演習を通して学びます。

(伊丹市宮ノ前 1-1-3 最寄り駅 阪急伊丹駅、JR 伊丹駅)



主催 J K Y B ライフスキル教育研究会
共催 J K Y B ライフスキル教育研究会近畿支部

09：30～09：45 受付（5階会議室2）

09：45～10：00

開会式

午前の部

10：00～12：00

いじめの影響と一次予防の重要性（講師：神戸大学名誉教授 川畑徹朗）

【いじめは、被害者や加害者だけではなく目撃者に対しても深刻な影響を及ぼすこと、いじめ防止対策の根幹は一次予防（未然防止）であること、いじめを効果的に防止するためには、いじめの起こりにくい「環境づくり」といじめをしない、受けない、見逃さないための「個人的能力の形成」の二つを柱とするヘルスプロモーションの考えに基づいた取組が有効であることを、体験学習を通じて学びます。】

12：00～13：00 昼食休憩

午後の部

13：00～14：30

レジリエンシー形成を基礎とするいじめ防止「ユニット1」の理論的基礎と実際
（講師：川畑徹朗ほか）

【思春期の子どもたちが人生の中で起こる様々な困難な状況を乗り越えて生きていくために必要な能力や特性であるレジリエンシーを育てることに焦点を当てたJKYB いじめ防止プログラム 小学校高学年版「ユニット1」の概要を知り、具体的学習活動を体験します。】

休 憩

14：45～16：00

目撃者の行動変容に焦点を当てたいじめ防止「ユニット2」の理論的基礎と実際
（講師：川畑徹朗ほか）

【いじめを早期に収束させるために目撃者が果たす役割は極めて大きいことを理解し、目撃者が被害者を助ける行動を促進することに焦点を当てたJKYB いじめ防止プログラム 小学校高学年版「ユニット2」の概要を知り、具体的学習活動を体験します。】

16：10～16：30

閉会式